

「ビーチキーホルダー研修」実施要領

入所時、事前打ち合わせあり

国立江田島青少年交流の家

1 内容

海辺の漂着物（人工物・自然物）を活用し、キーホルダーづくりを行う。

2 ねらい

- ・キーホルダーづくりを通して、海辺の環境問題について考えるきっかけをつくる。
- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）について、自分なりの考えをもつ。

3 対象者

小学校第4学年以上。ただし、保護者又は引率指導者と活動する場合は小学校第3学年以下でも実施可能。



4 人数

クラフト室：最大40人、第8研修室：最大70人（他団体と活動が重複する場合は調整する）
5～6人で班を構成し活動する
※20人以上で実施可。

5 体験活動費、実施場所、実施時期、研修時間

(1) 体験活動費

クラフトをするもの1人あたり400円（材料費300円を含む）

※引率者や見学者からは徴収しない。ただし、キーホルダーをつくる場合は材料費をいただきます。（ビーチキーホルダー研修実施届に記載された人数によって、費用を算出する。）



(2) 実施場所

- ①クラフト室（海洋研修館の下）
②第8研修室
- （交流の家が指定した場所）

(3) 実施時期

5～12月、3月（雨天でも実施可能）

(4) 研修時間

午前：9：00～12：00

午前：13：00～16：00

※所要時間：約2時間程度（導入含む）

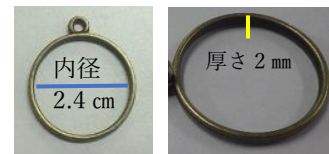


6 準備物

(1) 個人

- タオル 飲み物 筆記用具（必要に応じて）
 漂着物（マイクロプラスチック、貝殻、シーグラス等）持ち込み可

※キーホルダーのサイズは、内径2.4cm 厚さ2mmのため、大きすぎないものを準備してください。



(2) 引率者

- 携帯電話 その他、活動に必要と思われる物 救急バック（貸出可）

(3) 交流の家

- 導入セット
 クラフト用具セット（必要数）
 キーホルダー（3点セット）
 UVライト 雑巾 手指アルコール
 ごみ袋 分別容器（片づけ用）



※貸出物品を紛失・破損した場合は実費負担の弁償となる。（状況による）

7 指導・安全管理

(1) 団体は「ビーチキーホルダー研修」実施要領をもとに指導、安全管理等を行う。

(2) 指導者・引率者の配置・人数・役割分担

活動団体は次の役割を担う。(小規模の団体は担当を兼ねることができる)

① 総括責任者(全体の総括・指導)…1人

*実際の引率指導に当たっている団長(学校長、教頭、学年主任等)

② 指導担当者(用具の準備・後始末の指示、指導及び安全管理)…1人以上

*事故があった場合対応する引率者

③ 救護担当者(健康観察・応急処置・AED設置場所の確認)…1人以上

(3) 事故発生時の措置

① 総括責任者:事故の状況を把握し、交流の家に連絡をする。

② 指導担当者:事故現場付近に速やかに行き、事故対応する。

③ 救護担当:応急処置を行う。

事故発生時の連絡が交流の家にあった場合、所長は複数の職員を現場に派遣し、事故対応、応急処置に加わらせる。

9 展開

(1) 「ビーチキーホルダー研修実施届」(以下実施届)の提出。

団体は、実施届(及び物品利用希望書)に必要な事項を記入し、総括責任者が10日前までに交流の家に提出する。

(2) 研修打ち合わせ(入所時に企画指導専門職が団体引率者と実施)

① 団体から提出された「海のひみつキーホルダー研修実施届」「宿泊者名簿(または名簿)」「物品利用希望書」の変更の有無を聴取し、変更がある場合は修正する。また、貸出希望物品について確認する。

企画指導専門職は名簿を2部コピーし、1部は企画指導専門職が保持し、もう1部は打合せ担当者を通じて指導担当者に渡す。(原本は交流の家事務室用)

② 「海のひみつキーホルダー研修実施要領」をもとに研修の実施方法、安全管理等を説明する。

(3) 研修生を海洋研修館又は研修室(割振られた場所)に移動させる。

(指導担当者)

① 交流の家(事務室)から必要に応じて、救急バック1つを受け取る。

② 海洋研修室又は研修室(割振られた場所)へ移動し、班毎(5~6人)に机につかせる。

(4) 導入指導

(指導職員)

① 導入セットを活用し、海辺の環境について説明する。

② クラフト室又は第8研修室(割振られた部屋)へ移動し、班毎(5~6人)に机につかせる。

(5) 活動の実際

(指導担当者)

① 海岸の様子を見ながら環境について考える。

② 使用物品を貸し出す。

(クラフト用具セット(必要数)、キーホルダー(3点セット)、UVライト、手順)

③ 作り方の説明を行う。

④ クラフト開始。

(6) 活動後

(指導担当者)

① クラフト室の掃除をする。

② 使用した物を元の場所に戻す。

③ 持参した物品は必ず持ち帰らせる。

*ビーチコーミングを行った場合は、分別して専用の容器に入れる。

(7) 鍵の返却

(指導担当者)

研修終了を交流の家(事務室)に報告するとともに、クラフト室の鍵を返却する。

作り方の動画



10 連絡先

江田島青少年交流の家

TEL 0823-42-0660 (代表)

TEL 0823-42-0661 (プログラム代表)